



発行日：平成29年3月24日

平成29年第2号 (No.30)

# 北中かわら版

「北中かわら版」は地域医療連携のための広報誌です

## 北陸中央病院理念

「人間愛に基づいた医療を通じて  
社会に貢献します。」

### 基本方針

1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐をもち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の人々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

● 発行は、2, 3, 5, 6, 8, 9, 11, 12月です。「あいの風ほぐりく」が発行される月はお休みをいただきます。

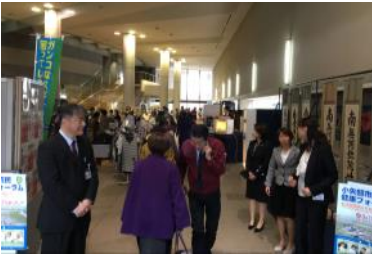
● 次回は平成29年5月発行を予定しています。

## 小矢部市民健康フォーラム

3月11日（土）、クロスランドおやべセレナホールにて、「小矢部市民健康フォーラム」が開催されました。清水病院長の開会挨拶の後、桜井小矢部市長、井上小矢部市医師会長より御祝辞を頂きました。

今年度は、「生活習慣病ってなに？」をテーマに身近な病気の初期症状から検査・治療について、亀水先生の座長のもと、大家先生が糖尿病、萩下先生が肝臓疾患、武藤先生が腎臓疾患、藤堂先生が心臓疾患、清水先生が呼吸器疾患について講演しました。

当日は朝からJAのイベントがメインホールやロビー、屋外でも行われておりとても賑わっていました。そのおかげでしょうか14時から開始された健康フォーラムは、これまでで最も多い約400人の来場となり、臨時の座席を用意するほどの大盛況となりました。



4月より整形外科の医師が交代となります。

# 新任整形外科医師のご紹介

これまでと同様二人体制での診療です。

## 池渕 公博 (いけぶち きみひろ) 先生

### ★専門領域★

脊椎外科、関節リウマチ

- 所属学会  
日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会  
日本リウマチ学会
- 専門医資格等  
日本整形外科学会専門医、リウマチ医  
日本脊椎脊髄病学会指導医  
日本リウマチ財団登録医  
日本体育協会公認スポーツドクター  
臨床研修指導医



### ◇ 経歴 ◇

- \* 金沢大学医学部卒業、医学博士
- \* 金沢医科大学氷見市民病院  
(平成29年3月31日まで)

## 青木 信之 (あおき のぶゆき) 先生

### ★専門領域★

スポーツ障害、関節外科

- 所属学会  
日本整形外科学会  
中部日本整形外科・災害外科学会
- 専門医資格等  
日本整形外科学会専門医  
日本体育協会公認スポーツドクター  
臨床研修指導医



### ◇ 経歴 ◇

- \* 金沢大学医学部卒業
- \* 金沢医科大学氷見市民病院  
(平成29年3月31日まで)

# 情報セキュリティ講習会（2017. 3. 7） 北中講堂にて開催

2015年9月 改正個人情報保護法が成立

2017年5月 改正法の全面施行

新たに顔認識データといった身体的特徴などを個人情報として明確化した。

人種、心情、病歴など不当な差別、偏見が生じる可能性のある個人情報は「要配慮個人情報」と定め、原則として本人の同意を得ることを義務化した。

改正法は取り扱う個人情報の数が5000以下の企業なども対象。

## なぜセキュリティ対策が必要なのか

個人情報保護法に違反した場合。罰則規定により6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金に処せられます。

また企業が負う責任として、損害賠償請求、窃盗罪、横領罪、不正アクセス罪などの民事・刑事責任が問われる場合があります。

漏えいした個人が迫る責任として、漏えい者は、営業秘密を漏えいされた被害者である企業から、企業の営業秘密を保護する法律である不正競争防止法や民法の不法行為の規定に基づいて損害賠償請求などを受けることとなります。また漏えい者の行為が個人情報を記録した媒体を取得することで個人情報を漏えいしたような場合、窃盗罪、横領罪、もしくは業務上横領罪が成立し、刑事責任が生じることもあります。

**それ以上に恐ろしいことは風評被害です！！**

## いろいろな要因で情報漏えいは起こります！

### ★USBメモリの紛失は重大事故です。

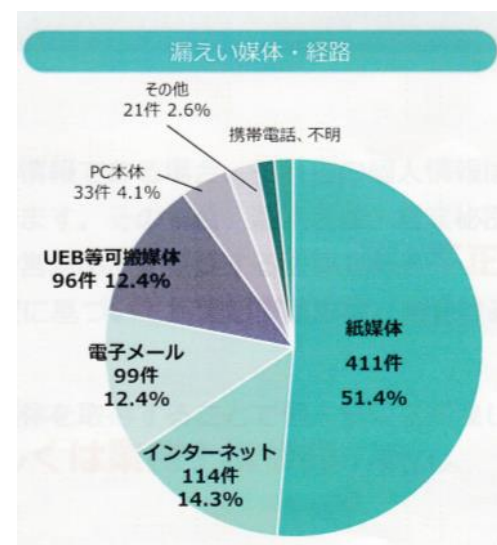
患者情報の入ったUSBは厳重な管理が必要です。

### ★口からも情報は漏れます。

友人、知人に勤務先で知り得た個人情報を話す。×

### ★SNS（ソーシャルネットワークサービス）は危険です。

SNSでの投稿は不特定多数の目に触れます。一度投稿した内容は容易に消すことができないので注意が必要です。



## 紙媒体からの情報漏えい件数が1番多く注意！

- 機密文書が放置されている（誤って廃棄してしまうリスク）
- 誰でも入手できる場所に機密文書が管理されている（盗難リスク）
- 外出時に立ち寄った飲食店や電車の網棚などに鞆ごと置き忘れる（紛失リスク）

怖いのは、その事実気がつかないことが多いこと。

特に普段は参照することがなく保管しているだけの書類は流出の事実を把握することが難しい。

また、システムでは防ぎにくい媒体であり、各自の意識・ルールの徹底が情報を守る重要な要素となります。



# 感染症発生動向

平成29年 第11週 3月13日(月)～3月19日(日)

## 《 全数報告の感染症 》

2類感染症 結核 3件 (①10代、男性 ②80代、男性 ③80代、女性)

5類感染症 梅毒 1件 (第8週診断分:50歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

## 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1位	インフルエンザ	9.98	11.90	↓
2位	感染性胃腸炎	5.10	5.41	↓
3位	流行性角結膜炎	3.00	0.57	↑
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.31	2.66	↓
5位	流行性耳下腺炎	1.24	1.62	↓
6位	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.60	0.20	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

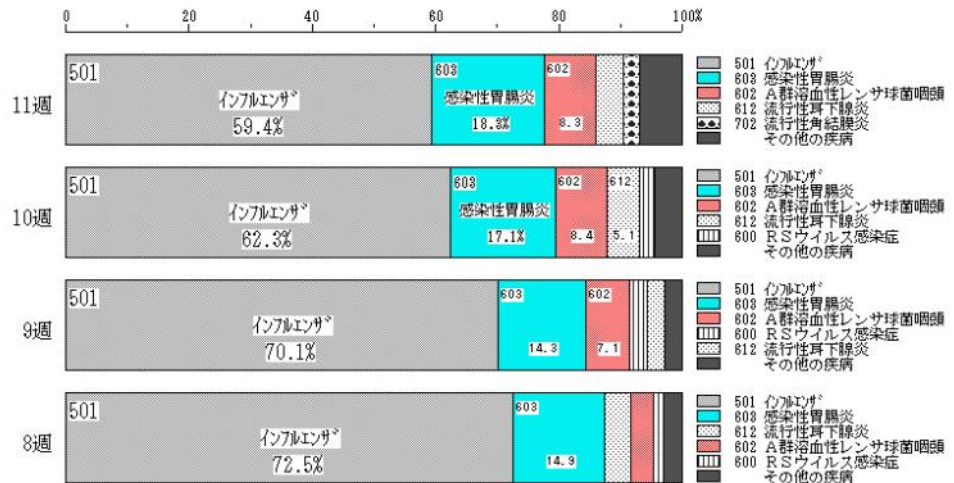
ホームページも  
ご覧ください  
<http://www.kouritu.go.jp/hospital/hokuriku/>

または

北陸中央病院で  
検索 してください



全県の疾病別報告数の割合



## Kansen1711w インフルエンザ情報



### ● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第11週 (3/13～3/19): 富山県 9.98人/定点

新川 HC (11.00)、中部 HC (14.80)、高岡 HC (5.77)、砺波 HC (7.86)、富山市 HC (12.38)

第5週に県内は警報レベルの目安である定点医療機関あたり30人を超えました。

県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にありますが、まだ報告数の多い状態が続いています。

